

科目（講座名）		数学Ⅱ（数学Ⅱ演習）	2単位	自由選択
教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ（数研出版）			
副教材	三訂版シニア数学演習ⅠAⅡB（受験編）			

学習の目標

式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数及び微分・積分について、基礎的な知識の確認と技能の習熟を図り、入試問題に対応した学力の習得を目指す。

授業内容

第1章 方程式・式と証明 1節. 式と計算 2節. 等式・不等式の証明
 第2章 複素数と方程式 1節. 複素数と2次方程式の解 2節. 高次方程式
 第3章 図形と方程式 1節. 点と直線 2節. 円 3節. 軌跡と領域
 第4章 三角関数 1節. 三角関数 2節. 加法定理
 第5章 指数関数と対数関数 1節. 指数関数 2節. 対数関数
 第6章 微分法と積分法 1節. 微分係数と導関数 2節. 関数の値の変化 3節. 積分法

学習方法

前半は、教科書・副教材で問題を解説し学習事項を確認するとともに、小テストで内容の定着を行う。後半は、プリントで過去の入試問題の演習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
数学的な 見方や考え方	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。
表現・処理	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分において、事象を数学的にとらえ、表現を処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。
知識・理解	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。

評価方法

1. 年4回の定期考査
2. 課題提出と小テスト
3. 出席状況、学習態度などを 年間を通して総合的に判断し、評価する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の 留意点
1	4	2 6	第 1 章 式と証明	1 節 式と計算 2 節 等式・不等式の証明	基本事項を丁寧に確認する。
			第 2 章 複素数と方程式	1 節 複素数と 2 次方程式の解 2 節 高次方程式	網羅的でなく、 取り上げた問題を細部まで理解 に努めさせる。
	5		第 3 章 図形と方程式	1 節 点と直線 2 節 円	小テストを通じて定着をさせる。
	6		第 4 章 三角関数	1 節 三角関数 2 節 加法定理	定期考査で授業 で扱った問題を出題して達成感 を持たせる。
	7		第 5 章 指数関数と対数関数	1 節 指数関数 2 節 対数関数	
			第 6 章 微分法と積分法	1 節 微分係数と導関数 2 節 関数の値の変化 3 節 積分法	
2	9	2 6	入試問題テーマ別演習	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数と対数関数 微分法と積分法	実際の入試問題を教材とする。
	10				難易度を上げず 1 学期の学習内容が生かせる問題を精選する。
	11			1 回～ 5 回	徐々に難易度を 上げて実際の入試に対応できる 力を養う。
	12				
3	1	1 8	まとめ	問題演習	過去の大学入 試問題等を今 までの学習を 踏まえて実施 し、応用力を 身につける。
	2				
	3				